

自ら判断し行動する生徒会活動の実践

1. 設定理由

本校では教育目標を「一人ひとりの生徒の個性を生かす知・徳・体の調和のとれた生徒の育成」と掲げ、めざす生徒像は「自ら気づき、考え、判断し、行動できる生徒」「学習意欲があり、主体的な進路決定ができる生徒」「思いやりをもち、品位のある生徒」である。本校の生徒には、仲間どうしの助け合いや自ら気づいて判断し、実行に移す姿勢に弱さを感じる。そこで、生徒の負担を抑えつつ、既存の生徒会や委員会の活動を充実させる体制づくりをした。その過程で、生徒が課題意識をもって諸活動にとりくみ、課題をひとつずつ解決することで生徒はより達成感や充実感を得ることになる。

その結果、生徒の主体性が高まり、本校の目指す主体的判断のできる生徒の育成につながるであろうと考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

生徒会活動の問題点を考えさせることができれば、生徒自ら課題を見出し、解決するために活動することで、生徒の自主性を伸ばすことができるであろう。

3. 研究内容

- 生徒会改革
- (1) 芝中改革委員会
  - (2) 委員長と教員の話し合い
  - (3) 2分前着席点検

4. 成 果

- 時間に対して今まで以上に意識を向けて学校生活を送る生徒が増えるようになった。
- 自分たちの学年や学校の課題を見つけ出し、様々な改善策を見つけ出すことができた。
- 課題に対してとりくみを考え、生徒自ら声をかけ合い、活動する姿が見られた。
- 点検表を一覧にして掲示することで、さらに生徒たちが意欲的にとりくむことができた。

山武支部  
芝山町立芝山中学校  
北田 昌之

## 研究主題

### 自ら判断し行動する生徒会活動の実践

#### 1 主題設定の理由

##### (1) 主題について

本校では学校教育目標を以下のように設定している。

「一人ひとりの生徒の個性を生かす知・徳・体の調和のとれた生徒の育成」

<目指す生徒像>

- ①自ら気づき、考え、判断し、行動できる生徒
- ②学習意欲があり、主体的な進路決定ができる生徒
- ③思いやりをもち、品位ある生徒

この目標を達成するためには、生徒が日常生活の中で主体的に諸活動にとりくむことが不可欠である。その中でも、学校行事や委員会のとりくみは、生徒の主体性を育むための機会の1つである。

しかし、生徒が主体的に行事の計画・運営を行うことには課題も多い。それは、生徒の活動が、委員会活動や部活動、学級活動など多岐にわたっているためである。そのため、時間の関係や他の活動との兼ね合いで、教職員主導の行事やキャンペーンの計画・実行になってしまうことがある。教職員主導の指導では、物事が円滑に進むというメリットがある一方、生徒は受身になってしまうため、主体的に活動させることが難しい。

そこで、生徒の負担を抑えつつ、既存の生徒会や委員会の活動を充実させる体制づくりをした。その過程で、生徒が課題意識をもって諸活動にとりくみ、課題をひとつずつ解決することで生徒はより達成感や充実感を得ることになる。

その結果、生徒の主体性が高まり、本校の目指す主体的判断のできる生徒の育成につながるであろうと考え、本主題を設定した。

##### (2) 生徒の実態

本校は成田空港が隣接する山武郡の北部に位置している。ほとんどの生徒は自転車通学である。数名の生徒はスクールバスを利用している。全校生徒数は、170名（1年生が56人、2年生が59人、3年生が55人。）の小規模校である。生徒は純朴で素直なところを持ち、優しく思いやりがある。物事へのとりくみも誠実で、何事にもこつこつと努力し責任を持ってとりくむことが多い。一方で、社会的変化が少ない地域のため、積極性や主体性について危惧される面がある。保護者の職業構成は他地域に比べて、農業従事者が多い。保護者ならびに地域住民の学校教育への関心は非常に高く、たいへん協力的である。

#### 2 研究仮説

生徒会活動の問題点を考えさせることができれば、生徒自ら課題を見出し、解決するために活動することで、生徒の自主性を伸ばすことができるであろう。

### 3 研究内容

#### (1) 芝中改革委員会

##### ①現状と課題、解決策についての話し合い

(I) 現3年生が2年生時の学年目標が「誇りに満ちた学年」であった。3年生への進級を控えた昨年の3月に、現3年生全員に誇りに満ちた学年にするためにはどうしたらよいかを考えさせ、「学級の課題とその解決策」「学年の課題とその解決策」を一人ひとりに意見を出させた。そこで一番多くの生徒が課題と掲げたものが「2分前着席」であった。

本校の生徒はノーチャイムで学校生活を送っている。そのため、生徒一人ひとりが時計を見て行動をしなければ「2分前着席」を行えないが、全員の生徒が時計を見て学校生活を送ることができていないのが現状である。

(II) 2分前着席を全員ができるようにするための解決策として、次の4点が生徒からあげられた。

- 2分前になる前に声かけをする。
- ポスターを制作する。
- 2分前着席を、班ごとに班長が責任をもって点検する。
- 一人ひとりが意識をすべきである。

上記の様に学年生徒から出てきた課題をもとに、生徒会役員と学年評議・各委員長が話し合いを持った。

**3月13日(月)『話し合い会議① ～芝中改革実行に向けて～』 (会議録)**

#### 1 生徒会長から

芝山中学校の良いところをあげていくと、先輩たちが今まで行ってきた良き伝統によって支えられていることが多いことに気がつきます。先日、2年生全員に実施した『誇りに満ちた学年になるために』のアンケートの結果を見させてもらいました。出てきた様々な課題を考えると、委員会活動の見直し・活性化で改善されるものが多いことが分かりました。芝山中学校の伝統を守りつつ改革していくことを、委員会活動と連動しながら実行していきたいと思います。

#### 2 生徒会役員と委員会の連携について

委員会の活動が本部の意向と連動したり、委員会をまたいで活動するときに生徒会役員が橋渡しをできるように、委員会と担当する生徒会役員を決めた。

評議委員会・生活安全委員会 (生徒会長)
学習図書委員会・情報委員会 (生徒会書記)
美化福祉委員会・歌声委員会 (生徒会副会長)
保健給食委員会 (生徒会会計)

### 3 本部および各委員会活動の見直し

#### ①評議委員会

- ・学年のリーダーとしての活動をもっと他の生徒から見てわかりやすいものにするべきである。
- ・自分のクラスの各委員会活動について評価し、次にいかせる活動を行っていくべきである。

#### ②生活安全委員会

- ・学校の基本的な生活習慣づくりのために大切な活動をしてきている。しかし、アンケート結果から課題が出てきている。もっと良い学校づくりのために頑張ってもらいたい。

#### ③学習図書委員会

- ・中間や期末、基礎基本テスト前の予想問題づくりはとても機能している。ただ、日々の活動として授業点検簿を行っているが、点検簿を教科の先生に書いてもらうだけになってしまっている。点検簿を活用したとりくみが何かできないか。

#### ④情報委員会

- ・放送のマンネリ化、仕事のやり忘れなど課題が残る。様々な工夫をし、委員会活動の活性化を図ってもらいたい。

#### ⑤美化福祉委員会

- ・美化活動、福祉活動と両面の活動を行ってもらいととても助かっている。今後はそれぞれの活動において、更なる芝中改革を実行してもらいたい。

#### ⑥保健給食委員会

- ・給食関係の動き（残菜ゼロキャンペーンの賞状）は良く活動状況が見える。今後はうがい・手洗いを徹底する時期である。これもキャンペーンを実施していくと、活動が目に見えて良いと思われる。

#### ⑦歌声委員会

- ・卒業式では素晴らしい合唱を卒業生に送ることができた。それは卒業式に向けて歌声交流会を定期的に開催してくれた成果だと思う。今後も様々なとりくみを行ってもらいたい。

### 4 先生から

生徒会役員も言っていたが、各委員会が様々なとりくみ行ってくれていることに対して、とても感謝している。しかし、生徒会長が公約に掲げた『芝中改革』を達成するためには、まだまだ課題が多く残っていると思う。課題を克服するためにも、生徒会役員・評議委員会・各専門委員会が一丸となって『芝山中学校をよりよい学

校にするんだ』という共通意識のもと活動をしてもらいたい。次回の会議では、今後の活動について話し合いを行う。次回までに、一人ひとりが、どのような活動が良いか考えておき、活発な意見交換ができるようにしよう。

**3月17日（月）『話し合い会議② ～芝中改革実行に向けて～』**（会議録）

1 生徒会長から

先日の会議を受けて、各委員会での今後のとりくみについて検討していきたいと  
思います。生徒数も少なく、様々なとりくみをすぐに実行に移しやすい学校ですが、  
「たくさんのキャンペーンをただやればいい」ではありません。キャンペーンの  
目的・意義を明確に持ち実行しなければ無駄に終わってしまいます。今日は良く考  
えて意見を出し合いましょう。

2 各委員会でとりくむべき活動について

①評議委員会

- 【とりくみⅠ】廊下や教室内での過ごし方の改善策。
- 【とりくみⅡ】委員会活動の評価を各クラス内で行う。

②生活安全委員会

- 【とりくみⅠ】駐輪場の使用マナー向上キャンペーン。
- 【とりくみⅡ】挨拶の活性化
- 【とりくみⅢ】2分前着席の徹底キャンペーン

③学習図書委員会

- 【とりくみⅠ】家庭学習の内容が充実するための工夫
- 【とりくみⅡ】授業態度の改善の工夫

④情報委員会

- 【とりくみⅠ】昼の放送の工夫と充実化

⑤美化福祉委員会

- 【とりくみⅠ】そうじへの意識向上キャンペーン
- 【とりくみⅡ】エコキャップ運動の活性化

⑥保健給食委員会

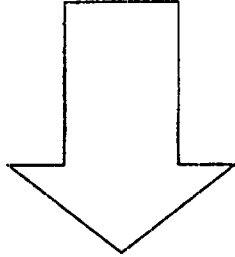
- 【とりくみⅠ】給食準備が早くなる取り組み
- 【とりくみⅡ】トイレスリッパ整理整頓運動

⑦歌声委員会

- 【とりくみⅠ】全校パート練習会
- 【とりくみⅡ】親学級による歌の出前授業

### 3 先生から

それぞれの委員会に向けて『とりくみ案』が出てきました。全校専門委員会にて話をし、『実行すべきもの』『実行できるもの』を良く検討し、とりくんでいきましょう。しかし、ただやみくもに実行しては良い成果は出てこない。事前に顧問の先生と綿密な話し合いを行いましょう。



#### (2) 委員長と教員の話し合い

生活安全委員長と話し合いをした。芝山中学校は10年以上も前から『ノーチャイム』で生活をし、『2分前着席』を実践してきている。生徒たちも『2分前着席は芝山中学校の伝統である』という気持ちを持っている。しかし、現状を見ていると2分前着席が徹底できておらず、現に生徒たちのアンケートから2分前着席が徹底できていないのが課題であることが出てきている。そこで生活安全委員会が中心となり、『芝中の伝統を守る』ために、また、めざす生徒像にもある『自ら気づき、考え、判断し、行動できる生徒』を育てるために、次年度から委員会のとりくみの一つとして「2分前着席点検」を実施することになった。

#### (3) 2分前着席点検

1年生が入学し、3学年そろったところで、2週間の点検期間を設けて「2分前着席点検」を生活安全委員会が中心となり実施した。

##### **実施方法**

- ①各学級の生活安全委員が名簿と点検表をもとに、朝読書から始まり、1校時から6校時までのそれぞれの時間で、2分前に着席が出来ていない生徒をチェックする。
- ②その日に出来ていない生徒を帰りの会で発表し、その日の2分前着席の達成率を2階多目的ホールに掲示してある記入用紙に生活安全委員が記入する。

##### **2分前着席の定義**

授業開始時の2分前に服装を整え、座った状態で、授業を受ける準備をすること。

##### **2分前着席を実施する意義**

2分前着席を行うことで、時計を見て自ら行動する自主性が育まれることと、落ち着いた状態で授業を始められるため、学習しやすい環境作りにも役立つ面があると考え、とりくんだ。

以下が5月10日（水）から26日（金）まで実施した点検の一覧である。  
 （5月15日（月）から17日（水）の3日間は3年生が修学旅行、1・2年生が学年行事を行っていたため実施していない。）

	10日(水)	11日(木)	12日(金)	18日(木)	19日(金)	22日(月)	23日(火)	24日(水)	25日(木)	26日(金)
1年A組	93.8%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
1年B組	100%	25%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
2年A組	100%	59.4%	75%	100%	87%	87%	100%	97.3%	100%	100%
2年B組	100%	100%	100%	100%	94%	100%	88%	100%	100%	100%
3年A組	96.4%	96.4%	100%	100%	65%	100%	97%	100%	97.3%	100%
3年B組	97.3%	89.5%	100%	100%	65%	100%	88%	87%	100%	100%

達成率は9割以上おおむね2分前着席ができています。その背景として、生活安全委員以外からも、「2分前着席だよ」「時計を見て行動して」などという声がたくさん聞かれ、多くの生徒が時間を見て行動ができていたことにある。

その一方で、移動教室が続く時などは間に合わないときがあった。1年B組の11日（木）の25%という数値は、移動教室がスムーズにいかず、2分前着席が出来ていない時間帯があったため、このような結果になってしまった。しかし、担任と学級の生活安全委員が中心となり、学級の生徒にもう一度、2分前着席を実施している意味を説明し、考えさせた結果、翌週の18日（木）と翌々週の25日（木）では改善ができています。

1年B組の生徒が実施した解決策は、生活安全委員と共に、班長が班長としての責任を持ち、自分の班に対して声かけをし、着席をさせたことにあると考える。毎時間毎時間、班長が声をかけ続けた結果、班員一人ひとりが時間に対する意識を持ち、時計を見て行動することにつながった。

この2週間での結果をもとに、専門委員会時に全学年の生活安全委員と話し合いをした。達成率は9割以上に上ることができたが、生徒達に満足している様子はなく、委員会の場で、どうすれば次の2分前着席点検時には全ての日において100%を全学級が達成できるかを考えた。

- 廊下にデジタルタイマーを設置し、2分前になったらブザーが鳴るように設定する。
- 各階に設置するデジタルタイマーの個数はないから、放送を使って鳴るように設定する。
- 各教室にキッチンタイマーを置き、時間になったら鳴るように設定する。
- 今まで以上に生活安全委員が声かけを行う。
- 次回の2分前着席点検では、全学級で達成率を出して表示するだけでなく、班ごとに点検を実施し、班ごとの達成率も2階多目的ホールに掲示できるようにする。
- 全日100%を達成した学級には表彰を行い、賞状を渡すようにする。

以下の6点が生徒から出た意見である。

生活安全委員にも2分前着席を実施している意義を再認識させた。実施の意義には「時計を見て自ら行動する自主性が育まれる」があるため、デジタルタイマーや校内放送を使用すると、この意義から外れてしまう。あくまでも自主性を育むために2分前着席を実施しているため、「声かけ」と「意識付け」「意欲付け」をして次回の2分前着席点検を実施していきたい。

#### 4 成果と課題

- 時間に対して今まで以上に意識を向けて学校生活を送る生徒が増えるようになった。
- 自分たちの学年や学校の課題を見つけ出し、様々な改善策を見つけ出すことができた。
- 課題に対してとりくみを考え、生徒自ら声をかけ合い、活動する姿が見られた。
- 点検表を一覧にして掲示することで、さらに生徒たちが意欲的にとりくむことができた。
- 呼びかけられないと時計を見て着席できない生徒が数名いた。

今後はさらに生徒の主体性を大切にして、自治的に生活できる集団作りを目指していきたい。



寶華

## 2分前着席点検について

朝の会を利用して、クラスの生徒に周知してください。

今日から2分前着席点検を実施します。

芝山中学校が実施している「2分前着席」「ノーチャイム」は山武郡内の各学校に誇れるものになっています。

しかし、現状はどうでしょうか？

なかには、「自分で時計を見て行動できている人」はいるかもしれませんが、全員がそうではないと思います。

今日から実施する「2分前着席点検」で、各クラスや芝山中学校全体の現状を把握したいと思います。

生活安全委員が声をかけますが、自分たちで時計を見て行動するようにしましょう。

※生活安全委員へ・・・

生活安全委員は毎時間の最初に2分前に着席しているかを確認してください。そして2分前着席チェック表に着席できなかった生徒の人数を記入してください。（その際に、分母の数も記入すること。）

（記入例）

日にち	曜日	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	合計

そして、1日の終わりに総合計とパーセントを2タモの一覧表に記入するようにしてください。2分前着席が0になったり、少なくなるのがベストですが、チェックを厳しく付け、数をごまかさずに数えましょう。

## 2分前着席点検表

5月10日	水	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	合計
着席できなかった人の数		/	/	/	/	/	/	/
5月11日	木	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	合計
着席できなかった人の数		/	/	/	/	/	/	/
5月12日	金	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	合計
着席できなかった人の数		/	/	/	/	/	/	/
5月18日	木	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	合計
着席できなかった人の数		/	/	/	/	/	/	/
5月19日	金	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	合計
着席できなかった人の数		/	/	/	/	/	/	/
5月22日	月	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	合計
着席できなかった人の数		/	/	/	/	/	/	/
5月23日	火	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	合計
着席できなかった人の数		/	/	/	/	/	/	/
5月24日	水	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	合計
着席できなかった人の数		/	/	/	/	/	/	/
5月25日	木	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	合計
着席できなかった人の数		/	/	/	/	/	/	/
5月26日	金	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	合計
着席できなかった人の数		/	/	/	/	/	/	/

年 組

# 2分前着席点検表

	10日(水)		11日(木)		12日(金)		18日(木)		19日(金)		22日(月)		23日(火)		24日(水)		25日(木)		26日(金)		合計					
1年A組	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%		
1年B組	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
2年A組	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
2年B組	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
3年A組	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
3年B組	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
合計	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%

◎生活安全委員が毎時間、チェック用紙を使い、2分前着席をしている生徒の人数を記録する。

◎2分前着席できなかった生徒の合計数とパーセントを記入する。

◎帰りの会終了後に記入する。

生活安全委員会